

山行番	NO. 1690	報告者	文・写真 後藤
年月日	2016. 06. 11 (土) 晴れ		
山名	愛鷹連峰・越前岳 (1504m)		
2万5千図	愛鷹山	距離	片道=20Km
三年ぶりの植樹ブナ測定			
コースと タイム	下土狩6:00-山の神初6:45-あしたか山荘-富士見台9:03-越前岳 9:34~11:33 (ブナ植樹地整備・測定) -呼子岳-割石峠12:31- 大沢-山の神14:03-美人の湯-反省会		
標高差	上り 山の神約750m~越前岳1504m=約754m 下り "		
困難度	普通		
参加者	後藤、MT、OH、MM、HK=5名		

三年ぶりの越前岳ブナ植樹地整備・測定に行く。山の神から出発。荷物は多い。杭(12本・1本約1.2kg)・10mm20mロープ・鉄ハンマー・鋸・鎌・鉋・表示看板(三島・ワタナベ看板謹製(A4版)・看板用杭・看板用ネジ・ドライバー・背負子など。これを5名で手分けして持ち上げる。

杭が厄介だった。長さ1.8m。かなり長い。私が背負子で8+1本運ぶ。残り4本を参加者が持つ。皆はザックにくくりつけた。私は背負子で重心が高い。樹枝によく引っ掛かり、その都度、腰を屈め潜るので参った。それでも上りは少しいが下りの屈みは最悪。

約2時間半で越前岳着。相変わらずの人気の登山者が多い。さっそく作業開始。まず、古い杭を抜く。結構、深く抜けないのもあった。抜いたら新しい杭を同じ所に打つ。これは鉄ハンマーで打つが、上手く出来る。新しいロープを杭の穴に通す。穴は三つ開けてきたが、一番上で統一した。一回通し戻して通したロープに絡め、次に伸ばす。

ワタナベ看板謹製の看板は、なかなかキレイな出来栄えだった。これを茶色の柱にビスで留めた。いままでは、アルミ板にペンキの手書きだったが、今度は格好イイ。

杭交換作業が終わり、ブナ測定に移る。まず、鎌で下草を刈る。とにかくこの地は、普段、人間が入らないので植物の繁茂が凄い。特に、ミツバツツジは元気がイイ。ミツバは日当たりが好きなのか。ブナは全体的に伸び悩んでいた。2003年に植樹したから13年経過した。いくらブナの成長が遅いといってもある程度にはなる。

何というか、矮小・盆栽傾向というか、こじんまりし過ぎている。伸び伸びしていないのだ。理由は分からない。ただ、NO.9だけは、順調に育っていた。これが本来の姿かも知れない。

元々、ブナの成長は遅いという。成木になるのに50年(ブナは高木だから成木は3m以上。3mの高さで枝葉が茂ると、相当の大きさ(体積)になる)、更に花を咲かせ実を結ぶのに30年必要といわれる。だから、たかだか13年くらいで、大騒ぎすることはないかも知れない??!!(笑い)

このブナの成長を将来見守るのは、孫子の代まで続くだろう。気の長いミッション。ある意味、楽しい事業である。





愛鷹連峰・越前岳（1504m）ブナ植樹測定値（単位・cm）

2003.06.01～

	2003.06.01（日）	2007.10.1（日）	2013.08.22（木）	2016.06.11（土）			
NO.1 最大高	5～10cm	70cm	77	77			
最大幅	〃	30cm	54	54			
NO.2	〃	60	60	60			
	〃	30	43	45			
NO.3	〃	40	40	49			
	〃	15	17	17			
NO.4	〃	50	58	20			
（伸び悩み）	〃	30	43	10			
NO.5	〃	45	57	57			
	〃	20	45	45			
NO.6	〃	50	50	39			
	〃	10	16	23			
NO.7	〃	70	不明	36			
	〃	25	不明	45			
NO.8	〃	不明	不明	不明			
	〃	支え木のみ	不明	不明			
NO.9	〃	70	83	116			
（順調木）	〃	20	63	90			
備考	実生ブナ			杭・ロープ交換			

概念図

